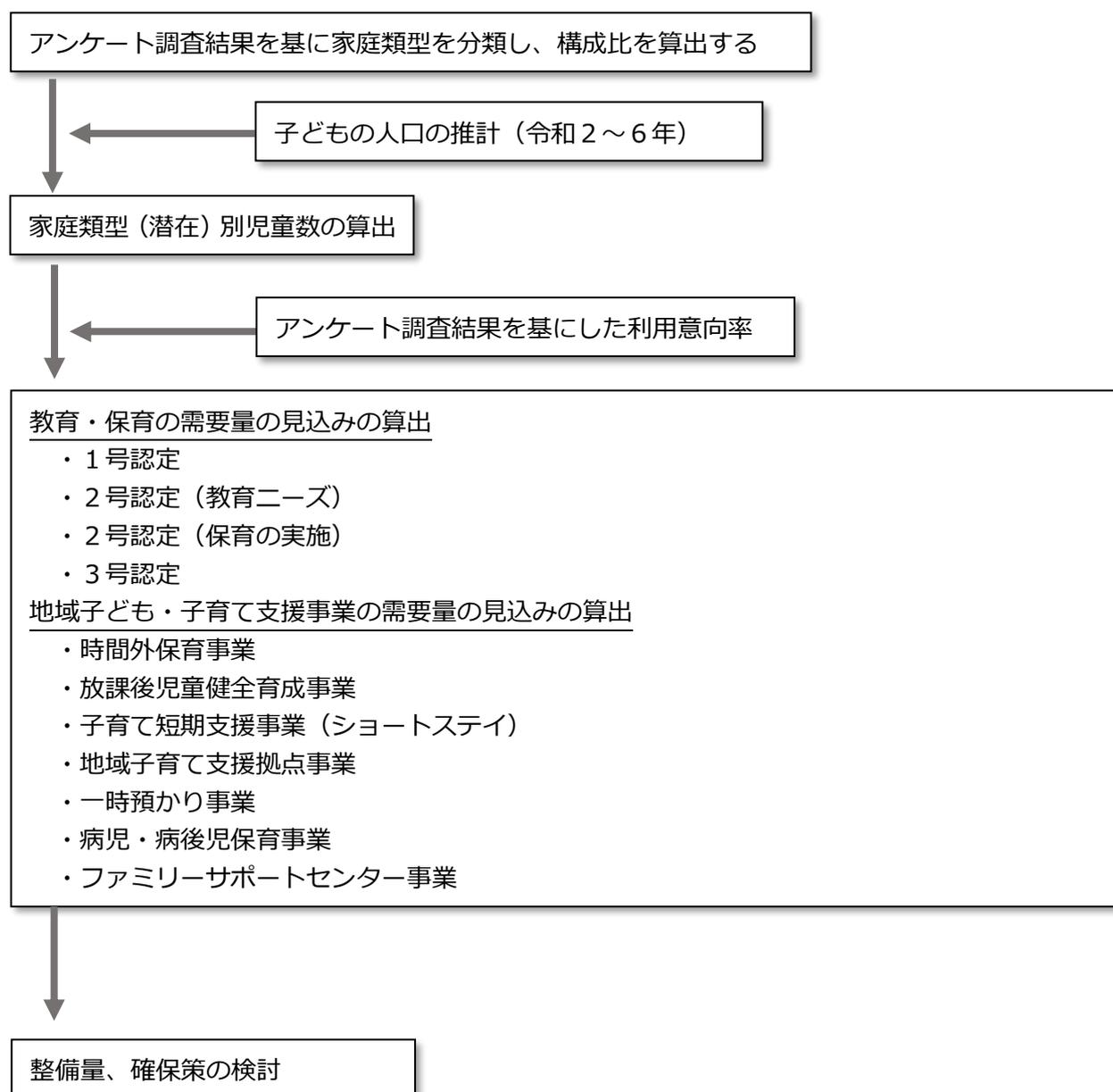


子ども・子育て支援事業計画における 「量の見込み」の算出について

I. 子ども・子育て支援事業計画 需要量見込み算出の流れ

内閣府より、平成31年4月23日付事務連絡にて、「第二期市町村子ども・子育て支援事業計画等における「量の見込み」の算出等の考え方（改訂版）」において、「量の見込み」の算出等の考え方が提示されたことから、手引きの算出方法の考え方に準拠し算出します。

■算出の流れ



II. 家庭類型の算出

1. 現在の家庭類型の分類

現在の家庭類型については、アンケート調査結果（ひとり親家庭は問 5、就労形態等は問 10～17）から、下記の 8 類型に分類します。

タイプ	父母の有無と就労状況
タイプA	ひとり親家庭
タイプB	フルタイム×フルタイム
タイプC	フルタイム×パートタイム (就労時間：月 120 時間以上＋下限時間～120 時間の一部)
タイプC'	フルタイム×パートタイム (就労時間：月下限時間未満＋下限時間～120 時間の一部)
タイプD	専業主婦（夫）
タイプE	パートタイム×パートタイム (就労時間：双方が月 120 時間以上＋下限時間～120 時間の一部)
タイプE'	パートタイム×パートタイム (就労時間：いずれかが月下限時間未満＋下限時間～120 時間の一部)
タイプF	無業×無業

■タイプBからタイプFの設定

		母親		父親		
		1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中		
				120時間以上	120時間未満 下限時間以上	下限時間未満
				5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない		
1. フルタイム就労 2. 育休・介護休業中		タイプB		タイプC		タイプC'
3. パートタイム就労 4. 育休・介護休業中	120時間以上	タイプC		タイプE		タイプD
	120時間未満 下限時間以上	タイプC'		タイプE'		
	下限時間未満					
5. 現在は就労していない 6. 就労したことがない				タイプD		タイプF

子ども・子育て支援法施行規則（平成 26 年 6 月 9 日内閣府令第 44 号）において、教育・保育給付を受ける場合の保育を必要とする事由が定められており、このうち、保護者のいずれかが労働することを常態とする場合については、その労働時間の下限を月 48 時間から 64 時間までの範囲で市町村が定めることとなっており、本市においては、労働時間の下限を月 48 時間としています。

■現在の家庭類型構成比

■0歳～就学前

	現在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	65	0.06
タイプB フルタイム×フルタイム	386	0.35
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	358	0.32
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	58	0.05
タイプD 専業主婦(夫)	237	0.21
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1	0.00
タイプF 無業×無業	1	0.00
全体	1106	1.0

■0歳

	現在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	6	0.03
タイプB フルタイム×フルタイム	85	0.37
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	43	0.19
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	10	0.04
タイプD 専業主婦(夫)	87	0.38
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00
タイプF 無業×無業	0	0.00
全体	231	1.0

■1・2歳

	現在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	15	0.05
タイプB フルタイム×フルタイム	123	0.38
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	93	0.29
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	15	0.05
タイプD 専業主婦(夫)	75	0.23
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00
タイプF 無業×無業	0	0.00
全体	321	1.0

■3歳～就学前

	現在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	44	0.08
タイプB フルタイム×フルタイム	178	0.32
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	222	0.40
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	33	0.06
タイプD 専業主婦(夫)	75	0.14
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1	0.00
タイプF 無業×無業	1	0.00
全体	554	1.0

2. 潜在家庭類型の分類

現在の家庭類型に、「母親の就労状況の変更希望」(アンケート調査 問 12、問 13-①) を加味したものを潜在家庭類型とし、「量の見込み」の算出は、潜在家庭類型に基づき、算出します。

■潜在家庭類型構成比

■0歳～就学前

	潜在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	65	0.06
タイプB フルタイム×フルタイム	442	0.40
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	347	0.31
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	65	0.06
タイプD 専業主婦(夫)	186	0.17
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1	0.00
タイプF 無業×無業	0	0.00
全体	1106	1.0

■0歳

	潜在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	6	0.03
タイプB フルタイム×フルタイム	100	0.43
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	47	0.20
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	9	0.04
タイプD 専業主婦(夫)	69	0.30
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00
タイプF 無業×無業	0	0.00
全体	231	1.0

■1・2歳

	潜在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	15	0.05
タイプB フルタイム×フルタイム	136	0.42
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	92	0.29
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	21	0.07
タイプD 専業主婦(夫)	57	0.18
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	0	0.00
タイプF 無業×無業	0	0.00
全体	321	1.0

■3歳～就学前

	潜在	
	実数	割合
タイプA ひとり親	44	0.08
タイプB フルタイム×フルタイム	206	0.37
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	208	0.38
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	35	0.06
タイプD 専業主婦(夫)	60	0.11
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)	0	0.00
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)	1	0.00
タイプF 無業×無業	0	0.00
全体	554	1.0

Ⅲ. 子どもの人口の推計

子どもの人口の推計については、第一期計画策定時と同様、住民基本台帳人口（平成 27～31 年の各 4 月 1 日時点の人口）を用いたコーホート変化率法により推計しました。

コーホート変化率法とは、過去における実績人口の動勢から「変化率」を求め、それに基づき将来人口を推計する方法で、推計が比較的近い将来の人口であり、変化率の算出基礎となる近い過去に特殊な人口変動がなく、また推計対象となる近い将来にも特殊な人口変動が予想されない場合に用いる手法です。

（「コーホート」：同じ年（又は同じ期間）に生まれた人々の集団）

1 歳以上の各年齢別人口の推計は、その前年における 1 歳下の人口に「コーホート変化率」を乗じることによって、推計することができます。

0 歳人口の推計では、「1 歳下の人口」が存在しないため、母親となり得る女性の人口（15～49 歳）と出生率から、推計します。

単位：人

	2019 年 (平成 31 年)	2020 年 (令和 2 年)	2021 年 (令和 3 年)	2022 年 (令和 4 年)	2023 年 (令和 5 年)	2024 年 (令和 6 年)
0 歳	556	544	529	515	505	492
1 歳	580	572	560	545	531	521
2 歳	611	574	566	554	539	525
3 歳	617	607	570	562	550	535
4 歳	644	612	602	565	557	545
5 歳	668	647	615	605	568	560
6 歳	679	654	633	602	592	555
7 歳	723	680	655	634	603	593
8 歳	703	726	683	658	637	606
9 歳	708	701	724	681	656	635
10 歳	764	711	704	727	684	659
11 歳	754	760	707	700	723	680
0～5 歳合計	3,676	3,556	3,442	3,346	3,250	3,178
6～11 歳合計	4,331	4,232	4,106	4,002	3,895	3,728
合計	8,007	7,788	7,548	7,348	7,145	6,906

IV. 量の見込みの算出

1. 潜在家庭類型別児童数の算出

年度ごとの推計児童数に潜在家庭類型割合を乗じて、潜在家庭類型別児童数を算出します。

■ 0歳～就学前（令和2年）

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	3,556	0.059	209
タイプB フルタイム×フルタイム		0.400	1,421
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.314	1,116
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.059	209
タイプD 専業主婦(夫)		0.168	598
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.001	3
タイプF 無業×無業		0.000	0

■ 0歳（令和2年）

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	544	0.026	14
タイプB フルタイム×フルタイム		0.433	235
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.203	111
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.039	21
タイプD 専業主婦(夫)		0.299	162
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.000	0

■ 1・2歳（令和2年）

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	1,146	0.047	54
タイプB フルタイム×フルタイム		0.424	486
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.287	328
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.065	75
タイプD 専業主婦(夫)		0.178	203
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプF 無業×無業		0.000	0

■ 3歳～就学前（令和2年）

	a:推計児童数(人)	b:潜在家族類型(割合)	c:家族類型別児童数
タイプA ひとり親	1,866	0.079	148
タイプB フルタイム×フルタイム		0.372	694
タイプC フルタイム×パートタイム(月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.375	701
タイプC' フルタイム×パートタイム(下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.063	118
タイプD 専業主婦(夫)		0.108	202
タイプE パート×パート(双方月120時間以上+下限時間～120時間の一部)		0.000	0
タイプE' パート×パート(いずれかが下限時間未満+下限時間～120時間の一部)		0.002	3
タイプF 無業×無業		0.000	0

令和3～6年の家庭類型別児童数についても同様の手順で算出します。

2. 量の見込みの算出

年度ごとの潜在家庭類型別児童数に利用意向率を乗じて、量の見込みを算出します。

また、算出した量の見込みを分析するとともに、必要に応じて本市における事業の実績等を基に量の見込みのを算出し、今後、子ども・子育て会議での意見等を踏まえて修正、見直しを行います。